

OFSE120

過励磁／定格励磁電源

OFSE120形電源は、全波整流／半波整流切換方式による過励磁／定格励磁電源です。

過励磁により、クラッチ/ブレーキのアーマチュア吸引を早くすることができ、クラッチ/ブレーキの作動が早くなります。

また、制御盤で一般的に使用されているDINレールにワンタッチで取り付けることができます。



①特長

■過励磁が可能

小形ケースの中に、整流器と過励磁回路を搭載しました。

過励磁により、クラッチ/ブレーキのアーマチュア吸引を早くできますので、クラッチ/ブレーキの作動が早くなります。

■高頻度動作が可能

20回／分までの通常動作が可能です。さらに、3回／秒以下かつ10回／分以下のインチングが可能です。

■小形・軽量化

樹脂ケースを採用し、小形・軽量化しました。

■取付け

ねじによる取付けのほか、市販のDINレールを使用した簡単な取付けもできます。

横幅は36mmですので、高密度で取付けできます。

②仕様

■方 式…………… 単相全波整流／半波整流切換式

■入力電圧…………… AC200/220V±10%
50/60Hz

■出力電圧・電流

過励磁…………… DC180/198V 2A以下
全波整流未平滑

保 持…………… DC90/99V 1A以下
半波整流未平滑

■過励磁時間…………… 200±30msec

■出力制御…………… 外部接点による全負荷電流開閉式

■制御接点…………… 保持電流が0.5A以下の場合、パワーリレーの接点を2個以上直列に接続し、保持電流が0.5Aを超える場合は、三相モータ用電磁接触器AC220V2.2kW用の接点を2個以上直列に接続してください。

■開閉頻度…………… 20回／分以下

■インチング頻度… 3回／秒以下かつ10回／分以下

■使用周囲温湿度… -10～60℃ 25～85%RH
(結露なきこと)

■保存周囲温湿度… -20～85℃ 25～90%RH
(結露なきこと)

■絶縁耐力…………… AC1500V 50/60Hz 1分間
入力一括とケース間
出力一括とケース間
制御接点入力一括とケース間

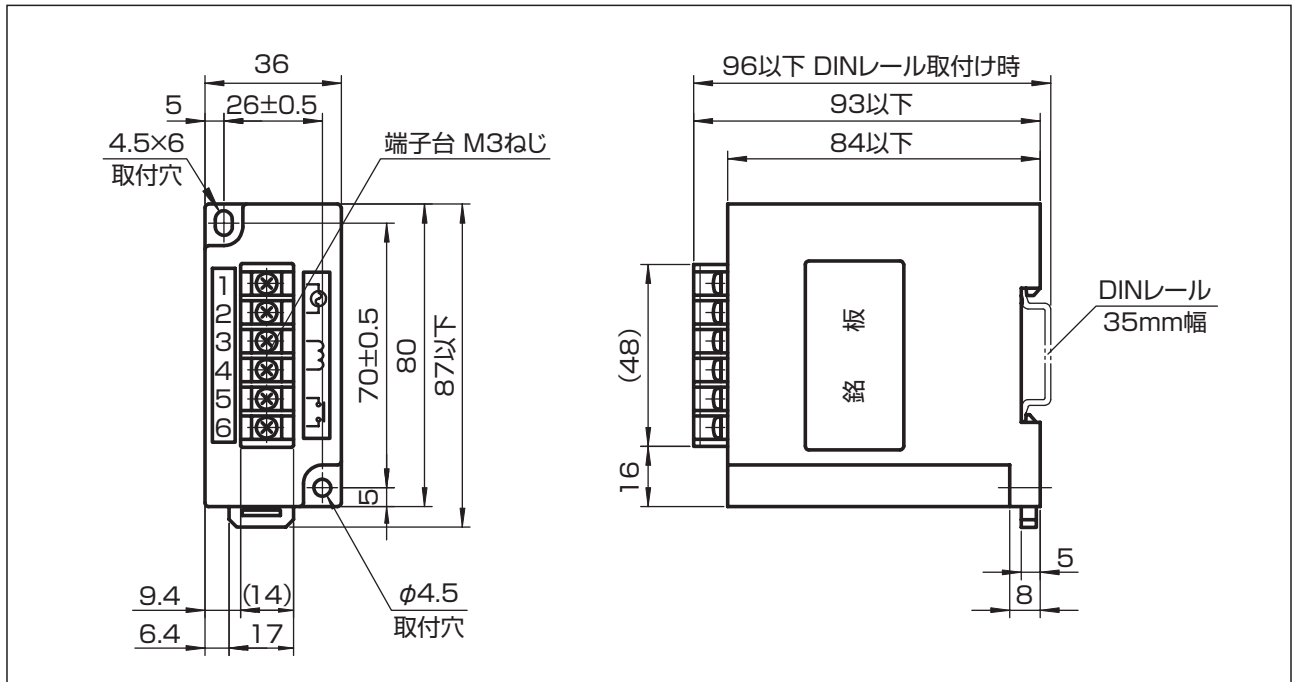
■絶縁抵抗…………… DC500Vメガにて100MΩ以上
入力一括とケース間
出力一括とケース間
制御接点入力一括とケース間

■質 量…………… 150g以下

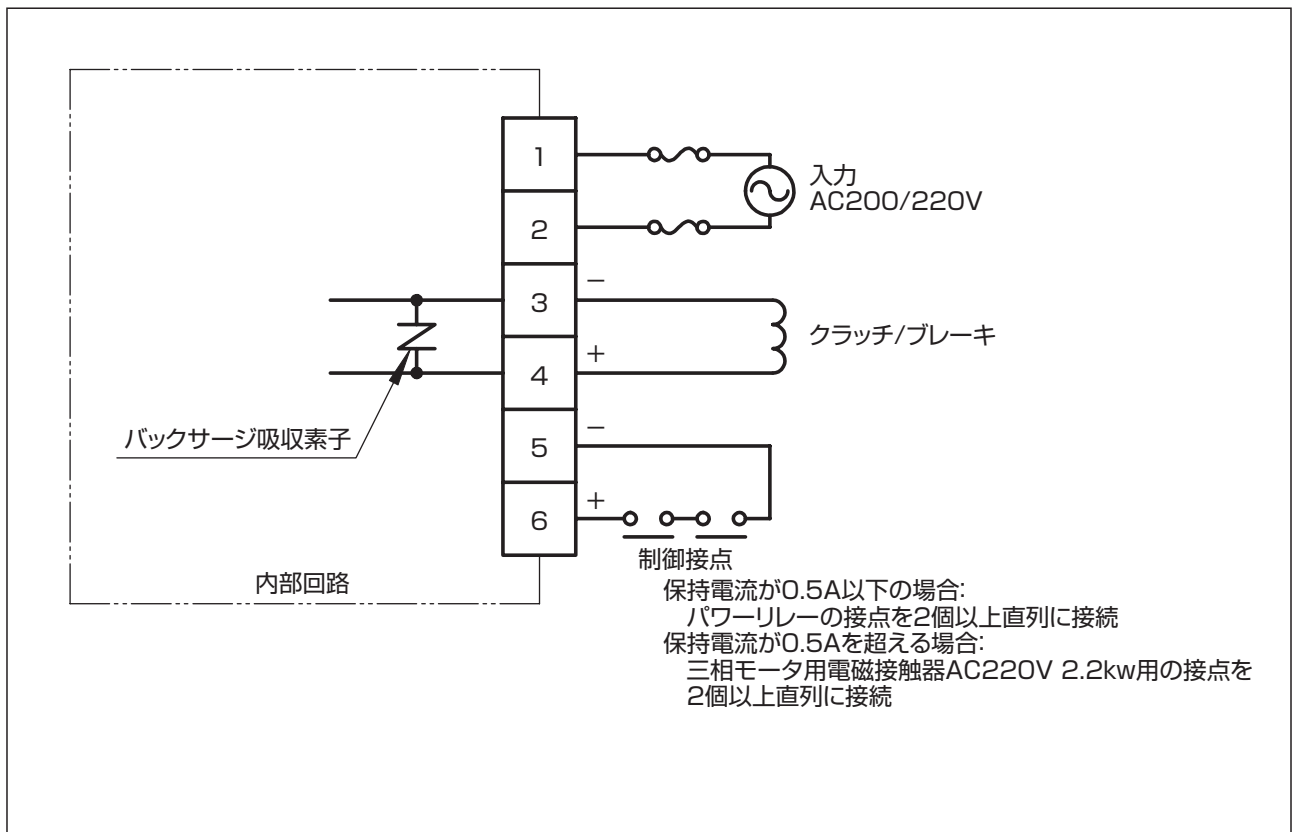
■適用負荷…………… 無励磁作動クラッチ/ブレーキ
定格DC90V 90W以下

■適用DINレール… 35mm 幅DIN46277準拠品

3 寸 法

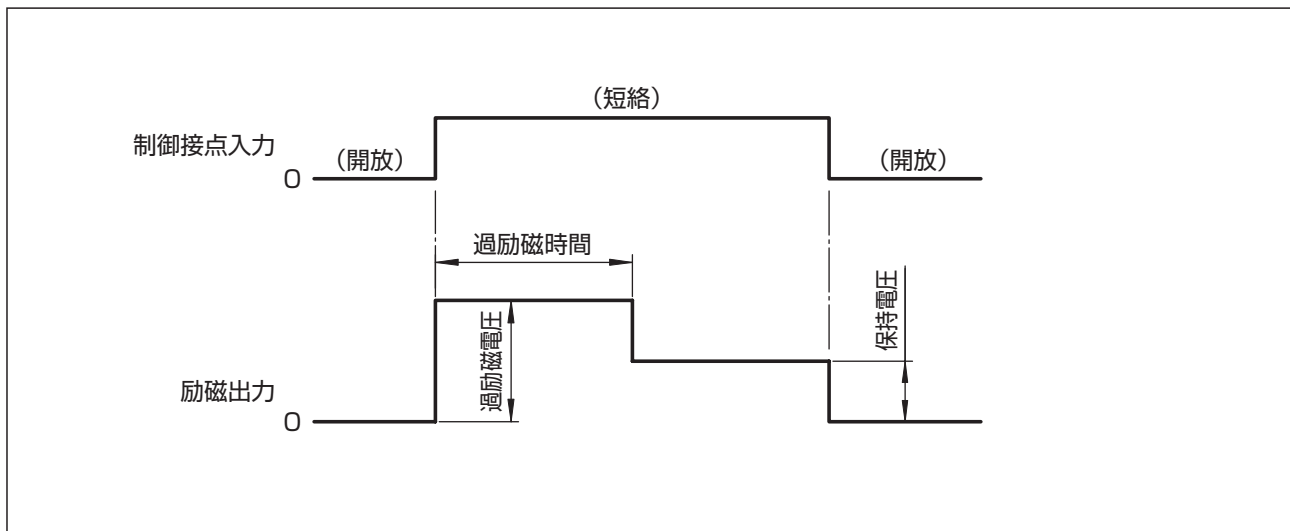


4 接 続



⑤動作

- (1) AC200V を入力している状態で、制御接点を短絡すると、過励磁時間200msecの間に過励磁電圧DC180V(AC200V入力時)を出力し、その後、保持電圧DC90V(AC200V入力時)を出力します。制御接点を開放すると、励磁出力を遮断します。
- (2) 制御接点を短絡した状態で、AC200Vを入力すると、過励磁時間200msecの間に過励磁電圧DC180V(AC200V入力時)を出力し、その後、保持電圧DC90V(AC200V入力時)を出力します。AC200Vを遮断すると励磁出力を遮断します。
- (3) 制御接点を短絡した状態で、AC200Vを遮断する場合は交流切りとなります。



⑥使用上の注意

- (1) AC入力側にヒューズ、サーキットプロテクタなどの保護装置を接続してください。
- (2) この電源はインバータ出力電圧の入力はできません。入力すると電源が破損します。
- (3) この電源はクラッチ/ブレーキ用バックサージ吸収素子を内蔵していますので、外部回路にバックサージ吸収素子を接続しないでください。
- (4) 制御接点で直流誘導出力(全電流)を直接開閉します。制御接点には、保持電流が0.5A以下の場合、パワーリレーの接点を2個以上直列に接続し、保持電流が0.5Aを超える場合は、三相モータ用電磁接触器AC220V 2.2kW用の接点を2個以上直列に接続してください。
- (5) 制御接点を短絡した状態で、AC200V入力電圧を遮断する場合は、交流切りとなりアーマチュアの積放が延びますので使用できません。
- (6) 出力電圧は入力電圧に依存するため、一般的なDC90V用のクラッチ/ブレーキを使用する場合は、AC200V±10%以外の電圧は入力しないでください。
- (7) この電源に万が一異常や不具合が生じた場合でも、二次災害防止のために、完成品に適切なフェールセーフ機能を必ず付加してください。